

紙もプラスチックもシール紙も  
高精細&高速。1台3役のコンパクトモデル。



COLOR CARD  
PRINTER **CX-G2400**

プラスチックカードプリンター・ICカードプリンター・名刺プリンターをお探しの方の課題を解決！  
名刺やショップカードなどの紙メディアの美しい印刷に加えて、社員証や証明書カードなど高級感のあるプラスチックカードやICカード、シール紙への印刷もできる1台3役のコンパクトカラーインクジェットプリンター。高精細&高速で、小さなスペースにも設置しやすい専用プリンターです。

名刺	プラスチックカード	ICカード	シール紙	長尺紙
ファーストプリント <b>7</b> 秒以下	印刷スピード プラスチックカード ICカード <b>50</b> 枚/分	印刷スピード 長尺紙 <b>25</b> 枚/分	印刷余白 全周: <b>0.3</b> mm 〔マイクロマージン印刷時〕	解像度 <b>1200 dpi</b> インクコスト 名刺 約 <b>0.3</b> 円~/枚

名刺などの紙への印刷から  
プラスチックカード・ICカード\*まで幅広く対応



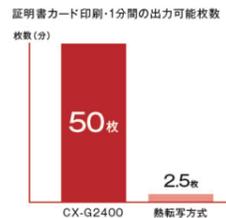
CX-G2400は名刺用紙などに加え、専用のプラスチックカードやICカード\*の対応も実現。社員証、資格証や修了証カードといった高級感が求められるカードも、1台で印刷可能です。



\*カードプリンター専用プラスチックカード・ICカードのみ印刷可能  
市販のPVC、PET-Gなどのカードに印刷できません。

紙もプラスチックもICも、  
名刺サイズ50枚/分の高速出力

キヤノン独自の2.1インチライン型プリントヘッドにより、紙とプラスチックの両メディアにおいて、名刺サイズで50枚/分の高速フルカラー出力を実現。一般的なインクジェットプリンターがプリントヘッドを左右に往復させて印刷(シリアル方式)するのに対し、ライン方式では幅の広いプリントヘッドが固定され、用紙だけが動くので、きわめて高速でのプリントが可能です。また、ファーストプリント優先モードで、1枚目をより速く印刷できます。(名刺:7秒以下)



●Canon、Canonロゴはキヤノン株式会社の登録商標です。●本紙に記載されている会社名、商品名は、一般に各社の登録商標または商標です。●記載の内容は2019年5月現在のものです。●弊社の都合により予告なく変更させていただく場合がありますのでご了承ください。

製品に関する情報はこちらでご確認いただけます。

キヤノン ホームページ  
[canon.jp/solution](http://canon.jp/solution)

キヤノン 導入事例一覧  
[canon.jp/solution-case](http://canon.jp/solution-case)

Canon キヤノンマーケティングジャパン株式会社

〒108-8011 東京都港区港南2-16-6 CANON STOWER

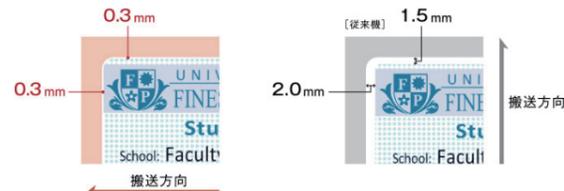
プラスチックカードの作成コストを削減

たとえば、プラスチックカードで社員証(表面カラー、裏面モノクロ印刷)を作成した場合、キヤノンのカードプリンターならインク代、メディア代を合わせて1枚約82円で作成可能。下の表のように、外注した場合はもちろん、一般的なプラスチックカード専用プリンターと比べても、より低コストで作成することができます。

発注枚数	外注	キヤノンカラーカードプリンター	一般的なプラスチックカード専用プリンター(熱転写方式)
10枚	約1,000円/枚	約82円/枚*2 (メディア代 約80円*1 +インク代 約2円~)	約110円/枚 (メディア代 約50円 +インク代 約60円)
100枚	約700円/枚		
1,000枚	約110円/枚		

新採用のマイクロマージン技術で  
ほぼフチなし印刷を実現

CX-G2400は、印刷時に用紙のフチから0.3mmまで印刷できるマイクロマージン技術を採用。人の目にほぼフチなしと見えるまでの精度の高い印刷を可能にしています。



●お求めは信用のある当社で

2019年5月現在

導入事例 **体感型動物園 iZoo 様**

姉妹施設でも使える  
顔写真入りの年間パスポートを  
即日発行して  
サービス向上&  
さらなるリピーター獲得を推進



Client Profile



動物園

従業員数:25名

※2019年5月現在

所在地 : 静岡県賀茂郡河津町浜406-2 (iZoo)

設立 : 平成24年12月15日



国内でも珍しい爬虫類・両生類の動物園として、  
初心者からマニアまで楽しめるiZoo

日本最大の爬虫類・両生類の動物園として2012年、静岡県賀茂郡河津町に誕生したiZoo。これまでの動物園や水族館ではできなかった飼育体験や見学の仕方をご提案する体感型動物園として開園以来、右肩上がりの成長を続ける同園では、サービス向上やさらなるリピーター獲得を目指し姉妹施設であるKawaZooのオープンに合わせてお得な共通年間パスポートを発行しました。そして、このパスポート発行のために、新たに導入されたのがキヤノンのカードプリンターです。詳しい導入の背景や選定理由などについて、施設を運営する有限会社レップジャパン 代表取締役でありiZooの園長も務める白輪氏と今回の導入担当である総務部 内田氏に伺いました。



01

## 導入背景

サービス向上とさらなるリピーター獲得のために  
姉妹施設との共通年間パスポートの発行を計画

爬虫類・両生類だけに特化し、  
日本ではここでしか見ることのできない希少な生物も多数飼育。  
小さなお子さまからマニアまでどなたでも楽しく過ごせる体感型の動物園として  
全国に数多ある動物園の中でも唯一無二の存在といえるのがiZooです。

## 作られたストーリーじゃないからこそ面白い

iZooの一番大きな特徴が、園内マップがないこと。  
「来園する度に变化のある動物園」を標榜する同園では度々レイアウトを変更するのももちろん、  
代表自ら「うちのスタッフで全部の動物を把握してる人はいないと思う」と語るように  
あえてスタッフにも知らせずに新しい生物を仕込むことも。  
予定調和を壊し、徹底して新鮮な驚きを大切に作る取り組みにより、  
中には100回以上通う方もいるなど数多くのリピーターの獲得に成功しています。

## 共通年間パスポートの発行で、より一層の顧客満足度アップを

そんな同園では、世界各国の珍しいカエルからおなじみのカエルまで、  
カエルだけを展示・飼育した姉妹施設KawaZooのオープンに際し、  
共通年間パスポートの発行を計画しました。  
内田氏が語ります。  
「当園ではこれまで年間パスポートのご用意がなく、KawaZooのオープンというのを一つの契機に  
日頃からご愛顧いただいている皆さまへのサービス向上とさらなるリピーターの獲得という  
2つの観点から共通年間パスポートを発行しようということに決まりました」。



園長 白輪 氏



総務部 内田 氏

02

## 選定理由

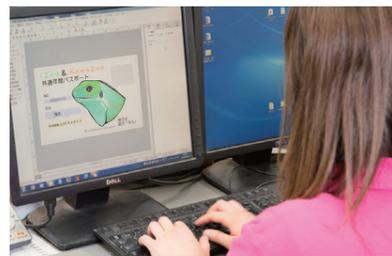
迅速な発行と個人情報保護の観点から  
キヤノンのカードプリンターによる内製化を選択

## 内製化を選んだのは、スピードとセキュリティの両面から

「少人数のスタッフで受付業務を行っていること、  
iZooの後にKawaZooへ行くお客さまもいることを踏まえると、  
パスポートの作成にあたっては  
手間なくスピーディーに発行できるかどうかが一番重要でした。  
そして、お客さまの個人情報を取り扱うことも考え、  
自ずと外注ではなく、内製化という選択肢に。  
いろいろと調べていく中でキヤノンのカードプリンターが候補に上がり、  
ホームページから問い合わせをしました」と内田氏。

## 使い勝手のよい専用ソフトも大きな決め手に

また、最終的な決断にあたっては、専用ソフトで簡単にパスポートのデザインがつけられることも大きかったと内田氏は語ります。  
「入場時に顔を見てご本人確認をしたいので顔写真を入れるのは必須だと考えていました。  
専用ソフトImageCreate SEを使用すれば撮った写真をすぐにレイアウトして簡単に印刷用データを作成できるということで、  
これが最後の決め手になりました」。

■名刺・カード作成ソフトImageCreate SE  
簡単な操作で思い通りのデザインを作成

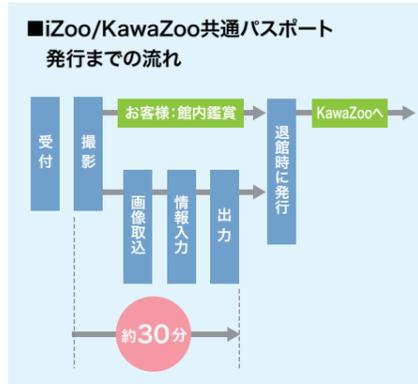
03

## 導入後の成果

顔写真入り&選べるデザインが好評を博し  
わずか数ヶ月で100名以上の方が購入

## 順調に増える共通年間パスポート購入者

2018年の導入から数ヶ月、  
すでに100名以上のお客さまが共通年間パスポートを購入。  
好みで数種類のデザインから選べて、園内を見学している間のわずか30分から1時間で  
自分だけの顔写真入りのパスポートをつくれる仕組みが非常に好評を博しています。  
内田氏が語ります。  
「ImageCreate SEも含めて、操作が簡単なので、  
導入するにあたって難しかったことは特にないですね。  
顔写真は小型カメラをUSBでパソコンに取り付けて、  
受付の左手にある壁の前で撮影しています。  
デザインのバリエーションをつくったのは、いくつかある中から選べた方が  
お客さまにも喜んでいただけるのではという発想から。  
実はカードに載せているイラストは常連のお客さまが描いてくださっているんです。  
あと、パスポートの裏にバーコードをつけていまして、  
新しいレジを使用しているKawaZooでは、  
そちらを読み込むことで入館いただくシステムをとっています。  
これにより人数もレシートに反映され、事務手続きをより簡略化することができています」。



04

## 今後の展開

共通年間パスポートの効果を活かし  
来場客数の倍増を実現したい

## 毎年デザインを変えてコレクション性を高める

最後に、今後の展望について伺いました。  
「簡単にデザインを変更できるので、例えば毎年デザインを変えたら  
コレクション性も出てきて、新たなリピーター獲得にもつながると考えています。  
また、この先の課題としては、先ほども申し上げたとおり、  
今はUSB接続の簡易的なカメラを使っているのですが、  
もう少し画質のいいカメラで撮っていききたいですね」と内田氏。

## 年間パスポートを来場者数アップの核に

また、最後に園長の白輪氏が、  
「2012年にここをオープンして以来、来場者はずっと右肩上がり、  
直近で年間15万人を超えるところまで来ました。  
でも、現在も施設を拡張中ですし、キャパ的にはまだまだ入ります。  
今来ている人たちがみんなリピーターになってくれたら  
もっと来場者数を増やすことは決して難しいことではないんです。  
今回の共通年間パスポートの発行を機に、来場者数の倍増を目指していけたらと思いますね。  
あと、カードプリンターの使い道という点では今後、飼育員を育成する専門学校を開設する予定で、  
職員証や学生証の発行にも活用したいと思っています」と締めくくられました。  
iZooの取り組みにこれからも注目していきたいです。

